

政策整理番号 1

# 評価シート(A)

対象年度	H16	作成部課室	保健福祉部地域福祉課	関係部課室	保健福祉部障害福祉課, 長寿社会政策課, 社会福祉課
------	-----	-------	------------	-------	----------------------------

## A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	1-1-1	政策名	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり
------	-------	-----	-------------------------------

政策概要	障害、加齢、病気などにより生活のための援助が必要になったときでも、住み慣れた家や地域で、いつまでも自分らしい暮らしをおくることのできる環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	障害者の地域での生活支援 体や精神の障害などにより日常生活をする上で誰かの助けが必要な状態になったときでも、これまでと同じように住み慣れた地域でいきいきと暮らせる社会的な体制づくりを目指します。	・障害者生活支援センター設置数 ・グループホーム設置数(知的障害者・精神障害者)
2	重度障害者の家庭での生活支援 難病や重い障害のために全身がほとんど動かせない方とその家族の生活の質の向上を目指します。	・利用希望者に対する提供率
3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実 高齢者が介護が必要になったときに、必要なサービスを自分で選択し、そのサービスが適切に提供されるような仕組みづくりを目指します。また、高齢者が、いつまでも健康で、できる限り自立した生活を送れるようみんなで支援する体制づくりを目指すとともに、痴呆性高齢者にとってより良いサービスを提供するための仕組みや介護を行っている家族を支える仕組みづくりを目指します。	・要支援・要介護高齢者のうち介護サービスを利用している者の割合
4	元気高齢者の生きがいづくり 高齢者が、多年にわたり培ってきた知識・経験を生かしながら、心身ともに健康で住み慣れた地域で社会的な活動に参加し、生きがいをもって生活できる社会づくりを目指します。	
5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保 福祉サービスに従事する人材の確保とともに、その人材の専門的、技術的な質の一層の向上を図り、質の高いサービスを提供するための仕組みづくりを目指します。	・ケアマネジメントリーダー数
6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進 地域で暮らす方々が、その地域の福祉の課題を発見し、NPOやボランティアをはじめとする自発的な活動でその解決を図っていく仕組みづくりを目指します。	

## A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	80	80	80	80	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	20 【高い】	20 【高い】	20 【高い】	20 【高い】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

## A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 適切 ・各種施策の概要は、上記に記載のとおりであり、政策を実現するため6施策すべてが必要と認められる。 ・本施策目的及び「みやぎの福祉・夢プラン」の基本理念である「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会」の実現のため、障害者や高齢者の生活支援をはじめとした地域で暮らすための仕組み作りや人材育成、地域福祉活動の推進などについて、この6施策により支援するものである。 【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・障害福祉分野、高齢福祉分野の施策とともに、地域生活支援に必要な人材の確保や地域福祉活動の推進など、政策実現のための多岐にわたる各種の施策を設定しており、施策間の重複や矛盾はない。 A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 適切 ・政策満足度のかい離度が高い状況であり、県民は本政策を必要と感じていると判断した。 ・施策ごとの必要性を見ると、社会経済情勢や施策満足度等の結果から、すべての施策の必要性が高いと認められる。 ・特に、施策1~5までについては、かい離度が高いとなっていることから、必要性を大とした。 ・施策6については、継続的に施策に取り組む必要があることから中とした。 ・障害福祉及び高齢者福祉の社会情勢をみても、地域で安心して暮らすための取り組みに重点が置かれていることから、本施策群の設定については、適切であると判断した。</p>
---

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括		
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか( )					
1	第4回 11.0%	5位	・本施策の優先度は6施策中5位である。 ・本施策のかい離は21点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・本県では、「みやぎ障害者プラン」(H17年3月策定)や「みやぎ知的障害者施設解体宣言」に基づき、「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会の実現」を目指しており、本施策はその重要な位置づけとなっている。	大		
	第3回 11.0%	5位					
	第2回 9.8%	5位					
2	11.4%	4位	・本施策の優先度は6施策中4位である。 ・本施策のかい離は24点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている			・本県では、「みやぎ障害者プラン」(H17年3月策定)や「みやぎ知的障害者施設解体宣言」に基づき、「地域で自分らしい生活を安心して送れる社会の実現」を目指しており、本施策はその重要な位置づけとなっている。 ・また、より障害の重い人の施策を優先しながら、結果として、みんなが利用できる支援サービスへの広がりを目指すこととしている。	大
	11.3%	4位					
	11.5%	4位					
3	42.7%	1位	・本施策の優先度は6施策中1位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:かなり感じている	・高齢化率(19.7% H17.3末)の上昇とともに75歳以上の後期高齢者の割合(45.8%)も上昇し、また、要介護者も今後とも増加が見込まれており、社会経済情勢からも引き続き強力に施策を推進する必要がある。 ・施策に対する優先度も一般県民では、地域、男女、年代とも、有識者では市町村・学識者ともすべて政策の中で第1位である。	大		
	42.3%	1位					
	42.5%	1位					
4	13.4%	3位	・本施策の優先度は6施策中3位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている			・この施策は高齢者の約8割を占める元気高齢者に対する施策であり、県民の65歳以上、学識者では第2位である。 ・介護予防という観点からも、生きがいづくり、社会参加の促進等の必要性は高い。	大
	11.9%	3位					
	12.2%	3位					
5	15.2%	2位	・本施策の優先度は6施策中2位である。 ・本施策のかい離は23点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・施策に対する優先度は、県民・有識者とも第2位であり、高齢者や障害者の生活を支援する各種サービスの担い手の確保、サービスの質の充実に対する県民の期待は大きい。	大		
	17.1%	2位					
	17.5%	2位					
6	5.5%	6位	・本施策の優先度は6施策中6位である。 ・本施策のかい離は19.5点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じていない			・県民の優先度は、最下位になっているが、これは、ボランティアの活動の場や窓口・情報交換の場の環境整備やコーディネーターの育成システムが不十分のため、ボランティア活動が効果的に実施されにくいためと考えられる。 ・よって、本施策に継続的に取り組む必要があると判断される。	中
	5.7%	6位					
	5.7%	6位					

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】  
 ・本施策の評価指標は、施策1及び5の指標について適切であり、今後とも継続する。このうち、施策1の指標については、日中活動の場に関する指標の設定の可能性について検討することとしている。また、施策5の指標は、今回から新たに設定されたものであり、適切な評価設定であると判断する。  
 ・施策2の指標は、その対象が広範囲なり、施策全体を評価できる新しい評価指標の設定について検討していくこととしている。  
 ・施策3の指標は、最近の社会情勢を踏まえて、新しい評価指標の設定を模索しているところであり、引き続き検討することとしている。  
 【重視すべき施策に指標が設定されているか】  
 ・必要性を大とした事業のうち、そのほとんどに指標が設定されており、適切である。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策3	施策5			
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	課題有	判定不能			
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効			
社会経済情勢	概ね有効	該当なし	該当なし	有効	概ね有効			
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該政策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果、評価指標について、現在の社会情勢の変化に適合した、より適切な評価指標の設定が可能かどうかを引き続き検討することとしていることから、概ね適切であると判断した。

対象年度 H16

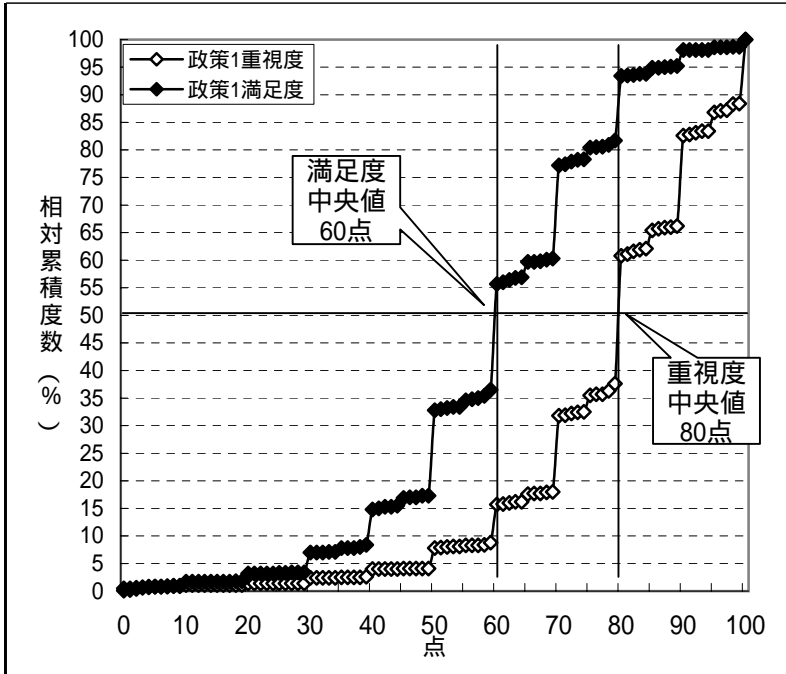
政策番号 1-1-1

政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 80.7

高認知度 72.7

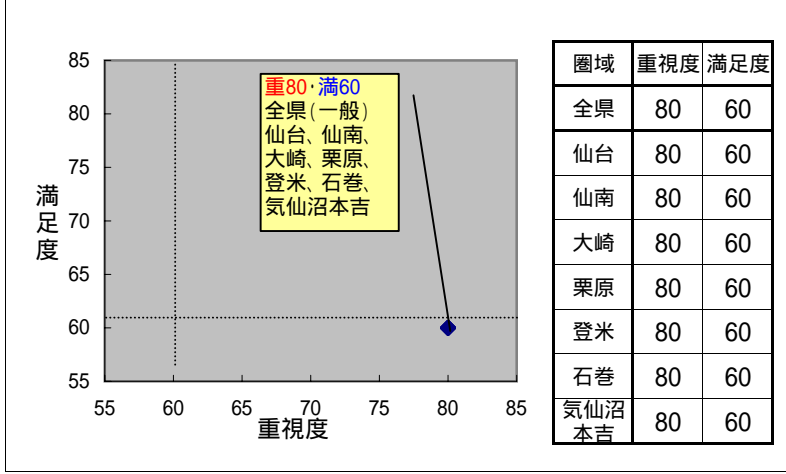


**高関心度**  
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

**高認知度**  
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	80	80	84.5	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

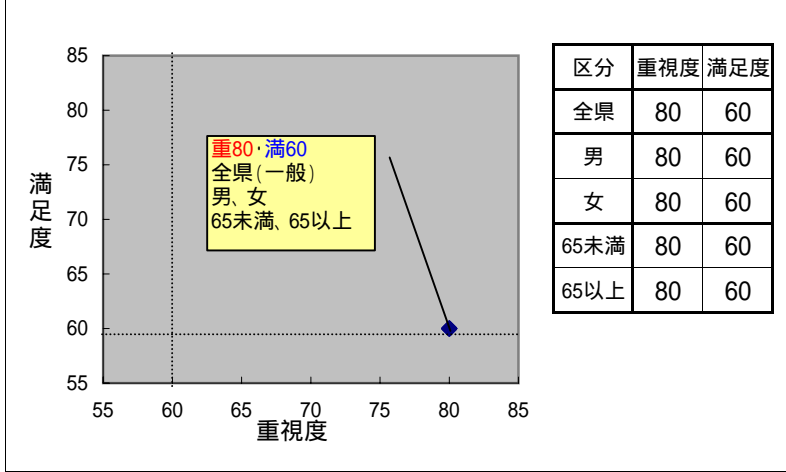
散布図



圏域別中央値(一般、市町村のみ)

圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
仙台	80	80	-	60	60	-
仙南	80	80	-	60	65	-
大崎	80	80	-	60	63	-
栗原	80	80	-	60	60	-
登米	80	80	-	60	60	-
石巻	80	80	-	60	60	-
気仙沼本吉	80	80	-	60	70	-

散布図



男女別・年代別中央値(一般のみ)

区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
男	80	-	-	60	-	-
女	80	-	-	60	-	-
65未満	80	-	-	60	-	-
65以上	80	-	-	60	-	-

対象年度 H16

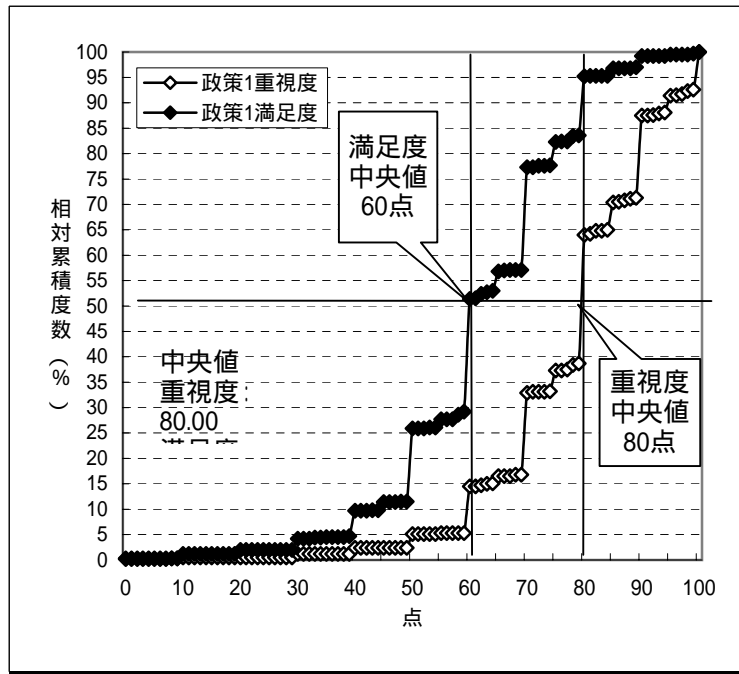
政策番号 1-1-1

政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

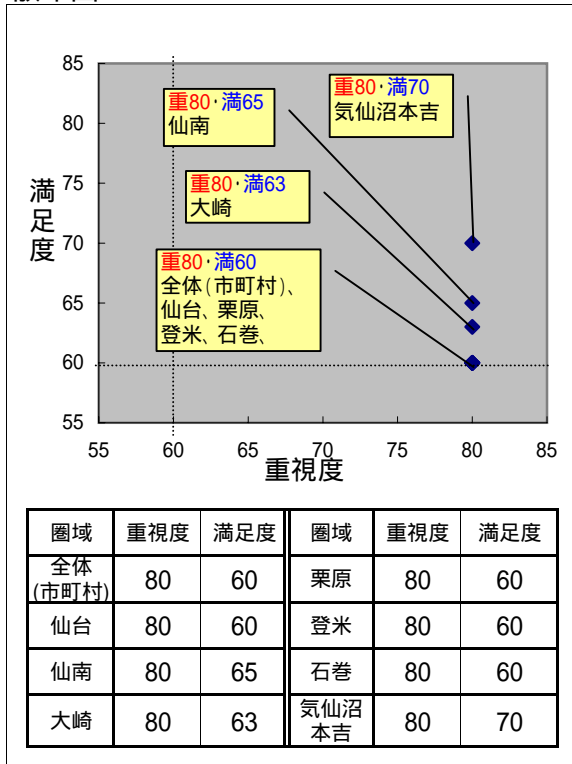
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 83.8

高認知度 82.9



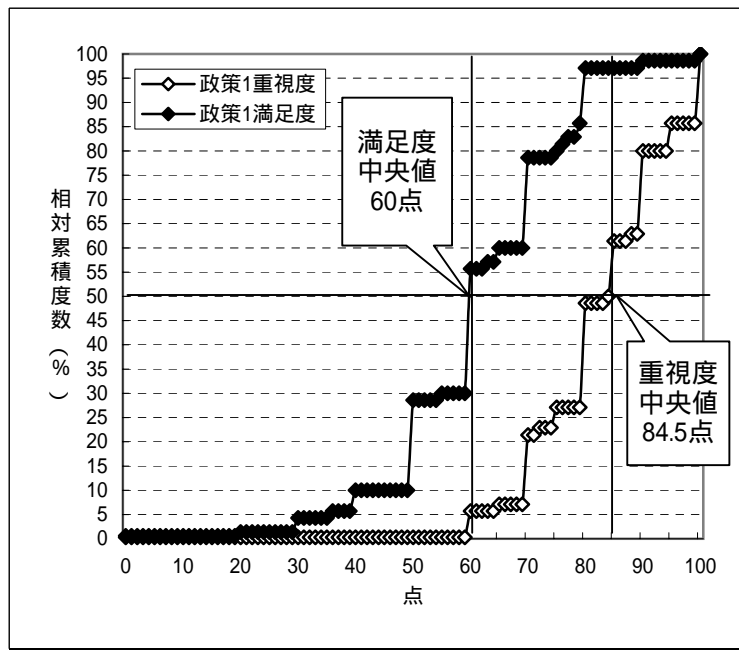
散布図



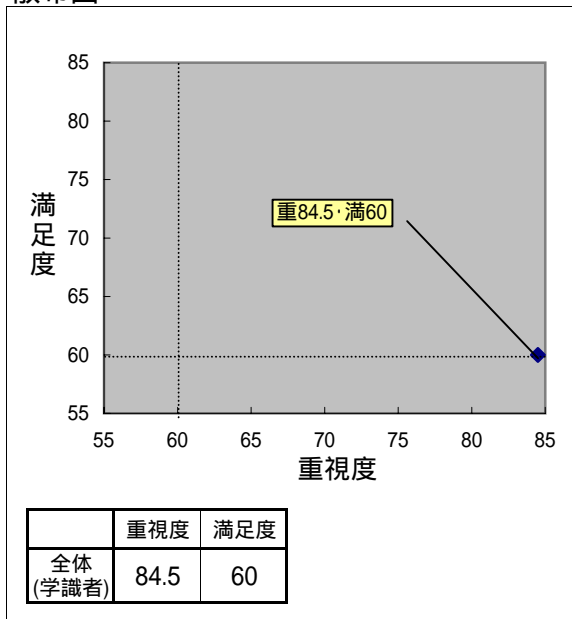
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 90.0

高認知度 88.6



散布図

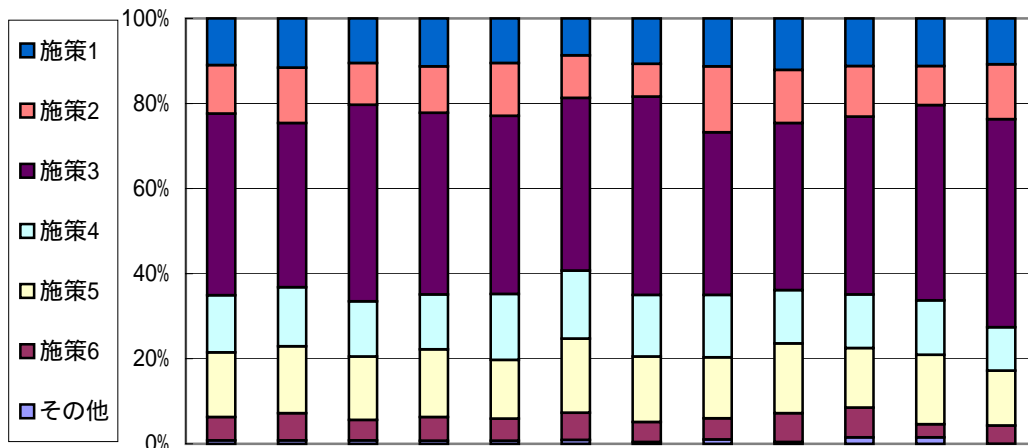


対象年度 H16

政策番号 1-1-1

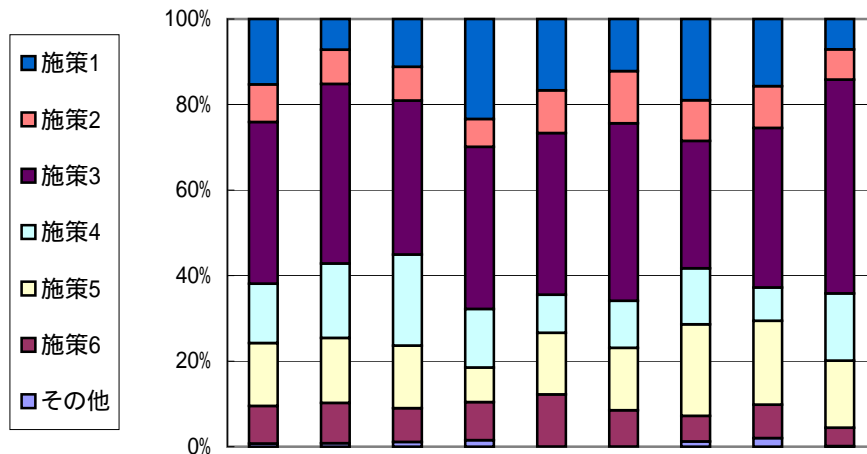
政策名 障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
施策1	障害者の地域での生活支援	11.0	11.6	10.5	11.3	10.5	8.7	10.7	11.3	12.1	11.2	11.2	10.8
施策2	重度障害者の家庭での生活支援	11.4	13.0	9.8	10.9	12.4	10.0	7.7	15.5	12.5	11.9	9.2	12.9
施策3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	42.7	38.6	46.2	42.7	41.9	40.6	46.6	38.2	39.3	41.8	45.9	48.9
施策4	元気高齢者の生きがいがづくり	13.4	13.9	13.0	12.9	15.5	16.0	14.5	14.7	12.5	12.6	12.8	10.2
施策5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	15.2	15.7	14.9	15.9	13.8	17.4	15.4	14.3	16.4	14.0	16.3	12.9
施策6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	5.5	6.4	4.8	5.6	5.2	6.4	4.7	5.0	6.8	7.0	3.1	4.3
	その他	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.9	0.4	1.0	0.4	1.5	1.5	0.0

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
施策1	障害者の地域での生活支援	15.3	7.2	11.2	23.4	16.7	12.2	19.0	15.7	7.1
施策2	重度障害者の家庭での生活支援	8.8	8.0	7.9	6.5	10.0	12.2	9.5	9.8	7.1
施策3	介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実	37.8	42.0	36.0	37.9	37.8	41.5	29.8	37.3	50.0
施策4	元気高齢者の生きがいがづくり	13.9	17.4	21.3	13.7	8.9	11.0	13.1	7.8	15.7
施策5	障害者や高齢者の地域での生活を支援する人材の確保	14.7	15.2	14.6	8.1	14.4	14.6	21.4	19.6	15.7
施策6	NPO(民間非営利組織)やボランティアなどによる地域福祉活動の推進	8.8	9.4	7.9	8.9	12.2	8.5	6.0	7.8	4.3
	その他	0.7	0.8	1.1	1.5	0.0	0.0	1.2	2.0	0.1